



地区テーマ
地域にやさしさを
ロータリーに活力を
本クラブテーマ
平常心でロータリーを

国際ロータリー第2800地区 鶴岡ロータリークラブ

第2490回(本年度第30回)例会 2010.3.2

●例会日／毎週火曜日(12:30~13:30)

●例会場／東京第一ホテル鶴岡

鶴岡市錦町 2-10 Tel. 0235-24-7611

クラブホームページアドレス <http://www.tsuruokarc.org/>

会長報告

富 横 松 夫

●3月2日 今日第9回理事会が開催されました。

後ほど、阿部幹事より報告があると思います。

元会員でおらました板垣俊次さんが2月22日に逝去されました。26日の葬儀には青柳副会長より参列して頂きました。板垣さんは昭和48年3月に入会され、平成6年6月に退会されております。長きに渡って鶴岡クラブに在籍されておりました。板垣さんのご冥福をお祈りしたいと思います。ご参列して頂いた青柳副会長大変有難うございました。

幹事報告

阿部 純次

○ガバナー事務所

　　インタークト・ローターアクトに対する補助金について

○第2回第2ブロック会長幹事会の案内

　　日時：3月5日（金）

○樺野隆博君慰労送別会

　　日時：3月16日（火）黒豚例会終了後

　　場所：東京第一ホテル鶴岡 9F

　　登録料：2,000円（当日持参）

尚、後任のプログラム委員長は樋渡美智子君

○東京東江戸川RC観桜例会のお誘い

　　日時：3月27日（土）17時集合

　　場所：都営地下鉄新宿線一之江駅東口

　　登録料：クラブ負担

※ゲスト丹省一氏紹介…………丸山プログラム委員長
秋田県出身。稻生町にお住まい。鶴岡工専名誉教授。日本風力エネルギー協会評議委員、全日本緑ネット小水力発電検討委員会委員など役職多数。

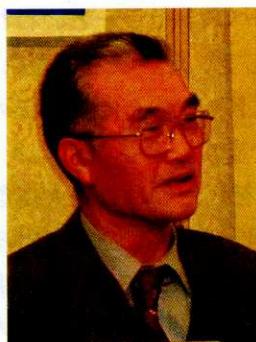
3月は… 識字率向上月間

出席報告

会員数	41名
出席	26名
出席率	68.42%
前々回確定出席率	86.84%

ゲストスピーチ 「自然エネルギーの活用」

鶴岡工専名誉教授 丹 省一 氏



元鶴岡工専の丹です。今日は映像を見ながらお話をさせていただきます。私はいろいろなことをやっていますが責任が重いのは技術評価委員会の仕事です。新しい技術が出てきたらそれに評価を下すということをやっています。我々の評価を銀行などの出資者が聞いています。責任は大変重い。錚々たるメンバーが委員になっています。

さて、私は、家の近くにある小真木公園を毎日5キロ走っています。今年は雪が降ったり、晴れたり、目まぐるしい天候でした。梅の枝が折れたのを拾ってきて風呂に置いておいたら花が咲きました。小真木公園の陸上競技場と武道館の間に小さな水路があります。ここに教育用の水車をつけようということで工事をしており、来週完成します。子ども達が回ってるとか、電気がついてるとか見てくれるといいなと思っています。

空を見上げると渡り鳥が列を成して飛んで行くのが見えます。鳥は上昇気流に乗ると羽ばたきする必要があります。隊形はVの字型です。流体力学にかなった飛行の仕方です。先日バンクーバーオリンピックで銀メダルを取ったパシュートという競技がありました。まさにこれと同じで面白いと思いました。縦に並んで走っていると一人で走っているより空気抵抗が少くなり、後ろの人は前に引っぱ



■R.I.会長/ジョン・ケニー ■地区ガバナー/佐藤豊彦 ■会長/富横松夫
■会長エレクト/佐藤孝子 ■副会長/青柳孝治 ■幹事/阿部純次 ■会報委員会/樺野隆博・石田 雄

事務局：鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL(0235)28-3375 FAX(0235)28-3376 E-mail:tsuruoka08@rid2800.jp

られるような形になります。お互いが力を出し合って互いに引っぱって行く、まさに今の時代に要請されていることだと思います。

皆さん、今いろんな問題がありますが根源はどこにあると思いますか。私は水車をやっていますが、そのきっかけになったのは1972年出版された『成長の限界』という本を読んだことです。成長は豊かさです。豊かさは地球の資源を使うことで得られます。それが永久に続くはずがありません。その解析をマサチューセッツ工科大学が行ない、まとめたのがこの本です。この本を読んでびっくりしました。自分は何をしたらしいのだろうと考えて、風車を始めました。この本は知識人のベストセラーといわれましたが日本では売れませんでした。欧米で売れ、今環境面で世界一といわれるドイツの方向性を決めたのがこの本だといわれています。著者のデニス・メドウズは20年後、早く手を打たなければ大変なことになると警告しています。私はこの本が出る10年前に出版された『沈黙の春』(1962年に出版されたレイチェル・カーソンの著書。DDTを始めとする農薬などの化学物質の危険性を、鳥達が鳴かなくなってしまった春という出来事を通して訴えた作品。)という本が大きな影響力を持ったのではないかと考えています。地球規模のことを問題にしたものではなかったが、刺激になったことは確かです。

去年から騒がれた「COP15」国連気候変動コペンハーゲン会議で、ICPP（国連の気候変動に関する政府間パネル Intergovernmental Panel on Climate Change）は、このまま地球温暖化が進めば、人間は地球上では住めなくなるといっています。生存基盤を脅かすというものです。ではどうしたらいいか、産業革命以前と比較して気温の上昇を2度以内に収めなければならないと ICPP はいっています。そのために先進国は 1990 年比 80% 削減しないと駄目だという計算になります。この会議は先進国と発展途上国の対立ということが大きく報道されました。2050 年までには -80% ということでは合意されました。この 2050 年の庄内を考えよう、我々の時代にこそ考えておかなければならぬといふことで会を作っています。

地球温暖化とは9割がエネルギー起源です。今問題になっている環境問題は実はエネルギー問題なのです。鶴岡市の対応を見ていると汚れをきれいにしようと言うことはあるが、エネルギーをどうするかは伝わってきません。

私は風車の研究をずっとやってきました。その頃

はくだらない研究だと言われたものです。今も私は継続しています。風車の研究をしているとその位置づけをしっかりさせようということを考えます。そこで太陽電池の研究をやろうということになりました。学生と毎年テーマが変わりますが、思い出深いのは 1999 年オーストラリアで開催された太陽電池で走るソーラーカーレースに出場したことです。秋田のレースには毎年出ています。

今日は水車の話をする予定でした。私達流体屋は何でも回そうという習性があります。風車で名を売り出した庄内町とは30年のお付き合いがあります。庄内町のように大型化した風車はなかなか研究しにくいのです。そこで小型の風車を作って実験をしています。

道路公団から風対策に風車を使いたいという話がありました。この間櫛引から鶴岡まで風車がたくさん立てられていました。公団から1月中旬まで50基作ってくれという話がありました。鶴岡には作れる会社は無いですよといいましたら九州の方で作って持ってきたみたいです。

ネパールで電源が欲しいということでマイクロ水車を作りました。他にも特許で押さえている水車を作っています。今何故小水力が注目されているかというと発電コストなのです。時間が来てまとまりませんでしたが、質問にはいつでもお答えしますので声をかけてください。ご清聴有難うございました。

香員會報告

姊妹友好委員會

今年は、ニューブランズウィック姉妹友好都市盟約50周年に当ります。様々な行事が予定されていますが、5月10日鶴岡市長を始めとする訪問団が渡米いたします。鶴岡RCとしても関係があることですので何名かの参加をお願いしたいと思います。その節は宜しくお願ひ致します。

出席委員会

メイクアップされた方

藤川享胤 加藤 賢 早寄 弘 佐々木皓彦
嶺岸禮三 西川富美子

◆スマイル

富樫松夫君 丹さんスピーチありがとうございました。

樋渡美智子君 誕生日ありがとうございます。この
4月からNHK庄内文化センターで、水彩画の講
師を頼まれました。依頼は断らない、これがロー
タリー精神の実行です。